

たまには、自慢話を。そうだそうだと読んでいただけたらありがたい。現在本校には、26名の職員が勤務している。それぞれ職務がある。子どもはその職員を「先生」と呼ぶ。そして、学校は「授業時間」を中心に日課が組まれている▼行事や儀式はこの授業時間の中に組み込まれ、授業者は子どもと向き合い「教育」を行う。平行して、その教育を支える先生や与えられた職務をこなす。全部合わせて「学校運営と教育活動」▼紹介したいのは、それらの「教育活動」「学校運営」を支える仕組みである。わたしたちは「組織」で動いている。担当リーダーがいて、フォロワーがいる。合意形成の手順と場がある。フィードバックの場があり、改革と改善の機会がある▼全て人の為すこと。それを象徴するのが「話の聞き方」である。目で聞く、心で聞く、手で聞くそして、「自分の頭で考え、大事なことは自分が決める」▼先生方に涵養されてきているのは、「共同体感覚」と「貢献」そして、「挑戦」。これは、子どもたちにも求めていること。「組織がしっかりしていれば、個人は高められる」先生が育つように、子どもも育つ▼子どもが属する集団は、主に3つある。「学級」「たてわり」「通学班」これらの集団を担当の先生方が、組織していく。「集団づくり」と呼ぶ。運動会では「学級」「たてわり」の集団の力が見られる。一人ひとりが輝く。